

02 婦人服製作



ウール地でジャケットを製作する

17世紀後半、ヨーロッパにおいて現在のような洋服の基礎が出来上がりました。日本に洋裁の技術が伝わったのは、明治維新前後のことです。婦人服の洋裁化が始まったのは鹿鳴館時代のことです。第2次大戦後、活動的な洋服の需要が高まり、洋裁技術も大きく進歩しました。

競技概要

競技時間 10時間(1日目7時間/2日目3時間)

今回の課題は無地のウール地で毛芯を使ったオーダーメイド仕立てで、ステンカラーのダブルのジャケットを10時間で仕上げます。

Point

各自で製図した型紙を使い、競技は布の裁断から始まります。プリンセスラインは立体的なシルエットを出す為にくせとりが重要です。ハ刺しをした、柔らかな返りの衿、袖付、折り返りのあるパッチポケットの付け方、ハンドステッチ等、丁寧な作業と技術が必要とされ、熟練した技を競います。

女性用ジャケット



第30回 競技課題

